



平成 22 年 11 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社フュージョンパートナー  
代 表 者 名 代表取締役社長 田村 健三  
(コード 4845 J A S D A Q)  
問 合 せ 先 取締役経営管理本部長 木下 朝太郎  
(TEL 03-6418-3898)

## 株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 11 月 15 日開催の取締役会において、株式会社ニューズウォッチの株式を取得し子会社化することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式取得の理由及び異動の方法

当社は、純粋持株会社として当社の企業集団に係る連結価値の向上に向けて、経営資源の選択と集中を進める一方、新規サービスの開発や新たなM&Aによる事業拡大を推進しております。

この度、当社はヤフー株式会社（以下、「ヤフー社」）の保有する株式会社ニューズウォッチ（以下、「ニューズウォッチ社」）の全株式（発行済株式総数の約 69%）を取得することといたしました。

なお、今回の株式取得後も既存株主から株式を追加取得し、最終的には発行済株式総数の 100%を取得し完全子会社化する予定であります。

ニューズウォッチ社は、ニュース配信「ニューズウォッチ」・サイト内検索「サイトナビプラス」・検索ポータルサイト「フレッシュアイ」を主要事業としており、独自の自然言語処理技術と情報フィルタリング技術およびインターネット検索技術を活用したサービスを提供しております。

ニューズウォッチ社は、株式会社東芝の関連会社として平成 8 年に設立以来、ニュース配信事業に始まり、検索ポータルサイト事業、さらにはサイト内検索事業とその業容を拡大し、平成 18 年にはヤフー社と資本提携を行い、ヤフー社の連結子会社となりました。

ニューズウォッチ社のサイト内検索事業における「サイトサーチ」は、ヤフー社からの業務委託に基づくものであり、ヤフー社のサービスとして提供していましたが、平成 22 年 12 月をもって業務委託が終了することとなりました。

しかしながら、500 サイト以上の導入実績がある「サイトナビプラス」をはじめとする独自技術を基に提供しているさまざまなサービスは、当社グループのデジアナコミュニケーションズ株式会社と融合および連携することにより、さらなる事業拡大が可能と考えております。

以上から、当社企業グループの連結価値向上につながると考え、株式を取得することといたしました。

#### 2. 取得する会社の概要

(1) 商 号 株式会社ニューズウォッチ

- (2) 代表者 代表取締役社長 金田直之  
(3) 所在地 東京都港区芝公園一丁目6番7号ランドマークプラザ3階  
(4) 設立年月日 平成8年4月26日  
(5) 主な事業の内容 情報処理サービス業  
(6) 資本金 428百万円  
(7) 従業員数 47名  
(8) 大株主および持株比率
- |            |                  |
|------------|------------------|
| 発行済株式総数    | 27,272株          |
| ヤフー株式会社    | 18,811株 (68.98%) |
| 株式会社東芝     | 5,455株 (20.00%)  |
| 新規事業投資株式会社 | 860株 (3.15%)     |
| 株式会社電通     | 798株 (2.93%)     |
| 凸版印刷株式会社   | 798株 (2.93%)     |
| 三井物産株式会社   | 500株 (1.83%)     |
| 他3名        | 50株 (0.18%)      |

(9) 沿革

平成8年4月	株式会社東芝の関連会社として株式会社ニューズウォッチ設立。ニュース配信サービスを提供開始。
平成14年4月	株式会社フレッシュアイと合併。ポータルサイト「フレッシュアイ」および検索ASPサービスを提供開始。
平成14年8月	サイト内検索ASPサービス「サイトナビ」提供開始。
平成16年8月	個人向け有料ニュース配信サービス「BroadNewsStreet」提供開始。
平成17年11月	ニュースアグリゲーションサービス「フレッシュアイ NewsWatch」提供開始。
平成18年4月	ヤフー社と資本提携。ヤフー社の連結子会社、株式会社東芝の関連会社となる。
平成20年2月	ヤフー社と共同で、企業・商用サイト向け検索サービス「サイトサーチ」提供開始。
平成20年9月	トレンドを先取りできる新感覚の統合型検索サービス「コトバノウチュウ」をリリース。
平成21年12月	サイト内検索ASPサービス「サイトナビ」をバージョンアップした「サイトナビプラス」提供開始。
平成22年2月	ユーザー参加型コミュニティサービス「フレッシュアイふむふむ」を、モバイルサイトにてリリース。

(10) 最近3事業年度における業績および財政状態

	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
売上高	882,529千円	916,366千円	1,172,875千円
営業利益	22,421千円	81,427千円	283,772千円
経常利益	26,922千円	81,452千円	282,354千円
当期純利益	△14,444千円	95,152千円	101,003千円
1株当たり当期純利益	△529.63円	3,489.03円	3,703.55円
1株当たり配当金	－円	－円	－円
総資産	612,152千円	754,754千円	896,524千円
純資産	448,564千円	543,716千円	644,720千円

1株当たり純資産	16,447.79円	19,936.82円	23,640.37円
----------	------------	------------	------------

(注) 平成22年3月期における売上高1,172百万円の内488百万円(41.6%)は、ヤフー社からの「サイトサーチ」に関する業務委託料であります。

(11) 当社との関係 資本・人的・取引関係について、いずれも該当事項はありません。

### 3. 株式の取得先の概要

- |                |   |
|----------------|---|
| (1) 商号         | ヤフー株式会社                                   |
| (2) 代表者        | 代表取締役社長 井上雅博                              |
| (3) 所在地        | 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー                   |
| (4) 設立年月日      | 平成8年1月31日                                 |
| (5) 主な事業の内容    | インターネット上の広告事業、イーコマース事業、<br>会員サービス事業、その他事業 |
| (6) 資本金        | 7,553百万円                                  |
| (7) 純資産        | 335,252百万円                                |
| (8) 総資産        | 413,548百万円                                |
| (9) 大株主および持株比率 | ソフトバンク株式会社 37.36%<br>ヤフーインク 34.78%        |
| (10) 当社との関係    | 資本・人的・取引関係について、いずれも該当事項はありません。            |

### 4. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式数の状況

- |               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| (1) 異動前の所有株式数 | 一株(所有割合一%)                  |
| (2) 取得株式数     | 18,811株                     |
| (3) 取得価額      | 451,464千円                   |
| (4) 異動後の所有株式数 | 18,811株(所有割合68.98%)         |
| (5) 取得価額の算定根拠 | 平成22年9月末日の純資産価額を元に決定しております。 |

### 5. 取得の日程

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| (1) 平成22年11月15日 | 株式譲渡契約締結 |
| (2) 平成22年11月30日 | 株式取得(予定) |

### 6. 今後の見通し

ニューズウォッチ社におけるヤフー社からの「サイトサーチ」に関する業務委託は、平成22年12月をもって終了いたします。この結果、ニューズウォッチ社の売上高は平成23年1月以降40%程度の減収となることを見込まれます。

当社連結業績に与える影響につきましては、事業内容および事業動向を見極めたうえで、平成23年1月下旬に予定している当社第2四半期決算短信にて開示する予定であります。修正が必要であると判断された場合には直ちに開示いたします。

今後におきましては、デジアナコミュニケーションズ株式会社との融合および連携と、新たなサービスの開発を実施するとともに、ニューズウォッチ社のもつ優秀な技術力、優良な顧客等の活用により、新たな事業収益体制を構築します。

以上